

令和4年度進行管理・評価シート
尾道市歴史的風致維持向上計画（令和4年3月21日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画	2
2 景観地区	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 常称寺建造物保存修理事業	4
2 重要文化財建造物等防災設備整備事業	5
3 指定文化財管理事業	6
4 文化財防災啓発事業	7
5 歴史的風致形成建造物等整備事業	8
6 歴史的建造物等調査事業	9
7 まちなみ形成事業	10
8 空き店舗活用支援事業	11
9 沿道建造物等修景事業	12
10 老朽危険建物除却促進事業	13
11 空き家再生促進事業	14
12 眺望環境整備事業	15
13 街なみ景観改善事業	16
14 道路美装化事業	17
15 道路美装化事業(瀬戸田地区)	18
16 道路美装化事業(幹線街路)	19
17 夜間景観形成事業	20
18 歩行者環境等整備事業	21
19 しまなみサクラ公園交流施設整備事業	22
20 憩いの広場整備事業	23
21 観光案内設備改良事業	24
22 文化財調査及び市史編さん事業	25
23 尾道文化財総合活性化プロジェクト事業	26
24 文化財愛護少年団事業	27
25 文化財講座開催事業	28
26 民俗芸能等支援事業	29
27 尾道歴史文化読本作成事業	30
28 日本遺産魅力発信推進事業	31
29 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業	32
30 文化財めぐり事業	33
31 近代化遺産活用事業	34
32 文化施設ネットワーク事業	35
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査に関する事項	36
2 文化財の修理に関する事項	37
3 文化財の防災に関する事項	38
4 文化財の継承の仕組みに関する事項	39
5 文化財の活用に関する事項	40
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 尾道市歴史的風致維持向上計画第2期認定 外	41
⑥その他(様式1-6)		
1 他都市等の行政視察、調査等の受け入れに対する取組	42
2 観光客(総数・外国人)数の推移	43

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	44
-------------------------	-------	----

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容 ○計画策定段階の庁内検討会を継承・発展させた関係課による推進体制を構築 ○文化財部門の文化振興課とまちづくり推進課のより密度を高めた連携・調整等 ○国・県等関係機関との協議と適切な支援を得るよう努める	定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 庁内体制では、まちづくり推進課が行うハード整備(道路美装化事業等)の実施にあたって、庁内の道路管理部局、商工部局及び観光部局と連携を図り、事業の円滑な進捗に努めた。 今年度の尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会は、進行管理・評価等のため1回の協議会を開催(一部委員はオンライン参加)し、協議・審議を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
庁内体制では、まちづくり推進課が行うハード整備(道路美装化事業等)の実施にあたって、庁内の道路管理部局、商工及び観光部局 ○尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催 ・第1回:令和5年3月20日開催 議題 『会長の選任について』 『計画の軽微変更(案)について』 『令和4年度進行管理・評価(案)について』 『尾道市都市再生整備計画(尾道地区)事後評価について』			
			
第1回推進協議会			

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	現在の状況
景観計画	令和4年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
尾道市の景観施策については、平成16年に施行された景観法に基づき、積極的に尾道の景観の保全と創造に取り組んできている。今後とも4点セット(景観条例、景観計画、景観地区に関する都市計画、屋外広告物条例)を基本に景観重要建築物・景観重要樹木の制度の導入等を検討しながら、歴史的風致の維持及び向上の面からも、景観施策に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

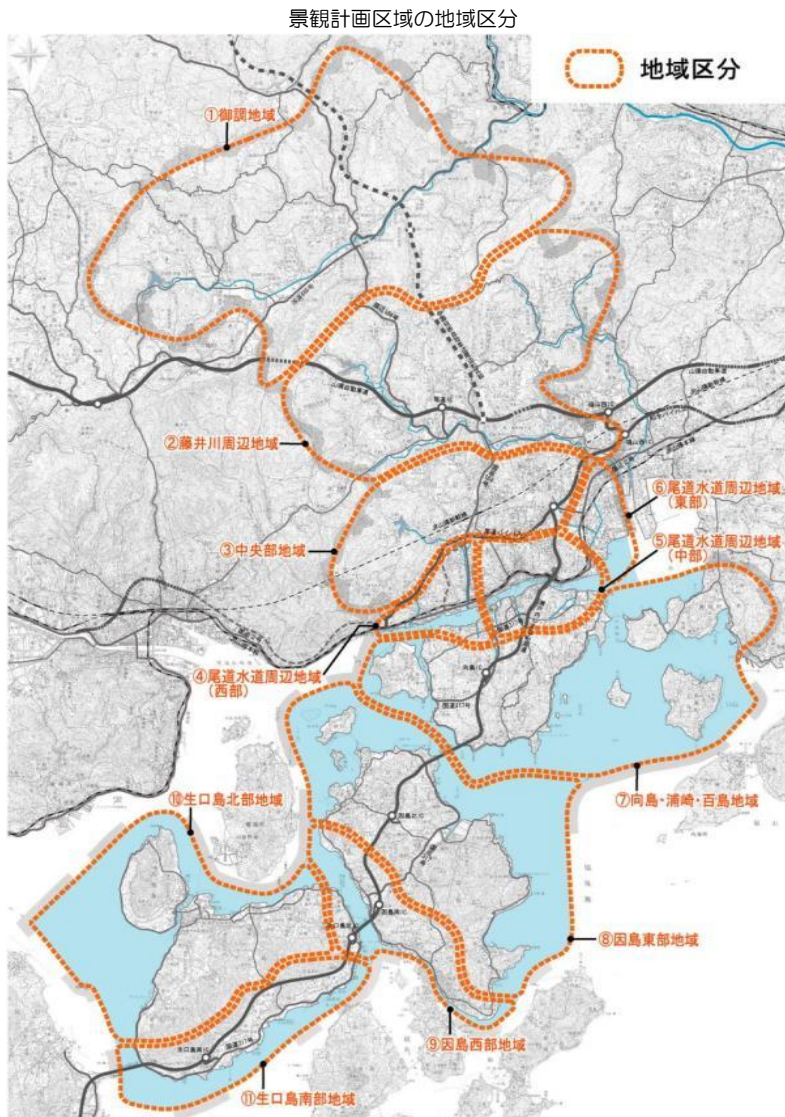
平成17年8月1日景観行政団体となり、平成19年4月1日景観条例を施行し、併せて景観計画を旧尾道市・向島町を対象として定め、さらに平成22年4月1日に尾道市全域に拡大して定めている。景観計画においては、景観計画区域内で建築物の新築等の行為を行う場合は、規模等により、あらかじめ市長に届出を必要とするなど、《心に残る尾道の景観》の形成を図ることとしており、広報誌等により制度の周知と理解に努めた。最終の計画改定から13年が経過することから、令和5年度に計画改定に着手する予定。

令和4年度届出件数：72件

(参考) 第1期計画期間(H24~R3)届出件数：688件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度
景観地区		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

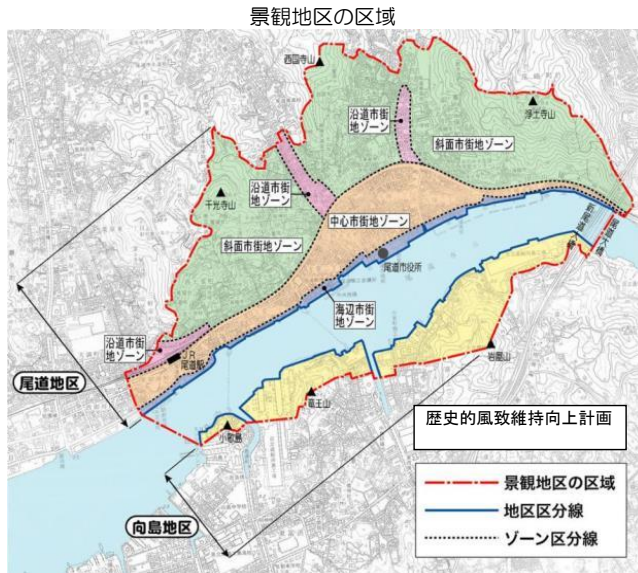
計画に記載している内容
 景観計画で位置づけた重点地区のうち尾道・向島地区については、都市計画で景観地区を定めている。この地区では、建築物等のデザインや色彩を制限するほか、眺望景観を守るために一致の区域で建築物の高さを制限する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成17年8月1日景観行政団体となり、平成19年4月1日景観法による景観地区を都市計画に定めるとともに、建築物や屋外広告物に対して必要な規制を定め、良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害の防止に努めている。景観地区においては、建築物・工作物の形態意匠を制限し、建築物の新築等については規模の大小を問わず、市長に対する認定申請を必要としている。また、屋外広告物に関しては景観に配慮した屋外広告物の設置を求めるとともに、屋上広告物の禁止や形態意匠の制限を厳しくするなど、地区内の良好な景観（眺望景観及び地域の景観との調和）の保全に取り組んでいる。これらについて、随時地区内の巡回や指導を行うとともに、広報誌等により制度の周知と理解に努めた。令和4年度認定件数：29件（参考）第1期計画期間（H24～R3）届出件数：515件 令和4年度屋外広告物関連巡回指導件数：17件（うち12件受理・許可・撤去済）

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



景観地区内にあり高さ制限24m範囲内で建てかえた市役所新庁舎（令和元年12月完成）

令和3年度 屋外広告物の景観配慮事例（海側の眺望に配慮して設置高さを変更）



改修前



改修後

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
常称寺建造物保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年度～令和9年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業		
計画に記載している内容	老朽化が進んでいる常称寺本堂・観音堂・墓処門の保存修理事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度では、保存修理事業を継続して実施し、本堂の組み立て工事、瓦葺き工事、内装工事を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

常称寺本堂（重要文化財）の組み立て工事、瓦葺き工事、内装工事



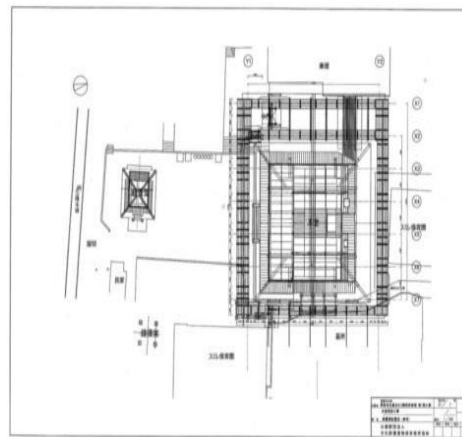
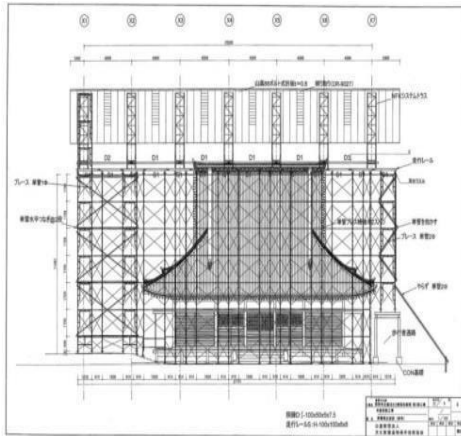
本堂内装工事



本堂内部組み立て工事

『参考図面』重要文化財
常称寺本堂ほか2棟保存修理

公益財団法人文化財建造物保存技術協会
(尾道市文化振興課提供)



評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
重要文化財建造物等防災設備整備事業(西郷寺・光明寺)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和3年度～4年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金等		
計画に記載している内容	国宝重要文化財建造物及び美術工芸品収蔵庫の防災防犯施設の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重要文化財西郷寺本堂及び山門に係る防災防犯施設整備と光明寺重要文化財収蔵庫(重要文化財木造千手観音立像)の防災防犯施設整備工事を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

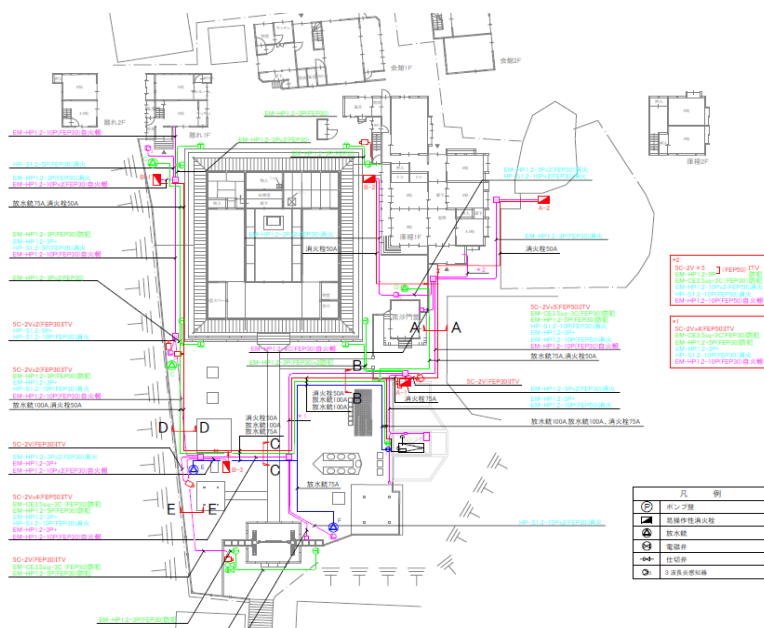


西郷寺防火水槽及びポンプ室等整備工事



光明寺収蔵庫改修工事完了後

西郷寺防災設備配管の敷設状況



評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
指定文化財管理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和54年度～		
支援事業名	指定文化財保存事業費等補助金(広島県)		
計画に記載している内容	重要文化財建造物の防災設備が円滑に機能するよう、その点検や維持管理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
対象建造物所有者による防災設備の点検に対し、補助金を交付した。(浄土寺・西國寺・西郷寺・常称寺・天寧寺・向上寺)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
防災設備保守点検状況(天寧寺) 			
防災設備保守点検状況(西郷寺) 			

**評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財防災啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	市民の協力を得ながら、文化財を火災等から守るため、文化財と防災に関する意識啓発を図るとともに、定期的・継続的に防災訓練を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内の重要文化財所有寺院において、消防局、地域住民合同の文化財防火訓練を実施した。 (浄土寺、西國寺、西郷寺、常称寺、天寧寺、向上寺など) 令和4年度は持光寺で文化財防災訓練を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

消防局、地域住民合同の文化財防火訓練の状況①
〔令和5年1月26日：持光寺〕



消防局、地域住民合同の文化財防火訓練の状況②
〔令和5年1月26日：持光寺〕



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

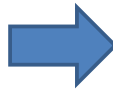
		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物に指定された建造物や指定候補の建造物の修景・修復整備を行う。(民間所有の場合は整備費用に 対し補助金を交付する。)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年8月24日に「尾道市歴史的風致形成建造物修景修復事業補助金交付要綱」、「尾道市歴史的風致形成建造物等の公開に関する要領」を制定した。平成27年9月1日付けで2件の歴史的風致形成建造物の指定を行い、同年度に、民間が所有する「みはらし亭」の修景・修復事業に対して補助金を交付。令和4年度には候補物件である旧三井住友銀行尾道支店の改修を実施した。 令和4年度実績:1件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	重点地区の歴史的風致を構成する重要な建造物の整備・活用につなげられており、今後も着実に取り組んでいく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

令和4年度

旧三井住友銀行尾道支店
(尾道市重要文化財)



整備前



整備後

平成27年度

みはらし亭
(登録有形文化財)



整備前



整備後

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
歴史的建造物調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的に価値のあると思われる建造物等が、老朽化・毀損により失われていく懸念に対して、建造物等の記録保存を図るとともに、「まちなみ形成事業」による整備、文化財指定・登録等を見据えた、ヘリテージマネージャーによる調査を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は東土堂町にある茶園建築の建物について、ヘリテージマネージャーによる調査及び所見・図書類の作成を実施した。

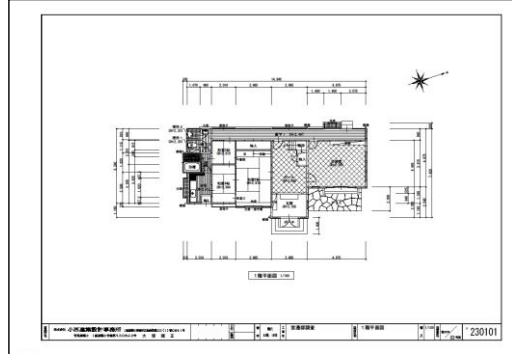
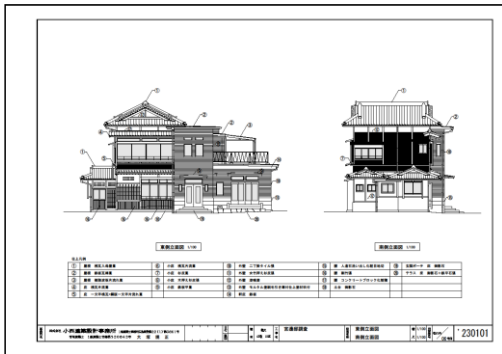
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

本事業を通じて所有者に対し建造物の重要性や価値の理解につなげられていることから、本事業の重要性の周知に努める。

状況を示す写真や資料等

調査建物
令和4年度



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
まちなみ形成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成15年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物・工作物(歴史的風致形成建造物を除く)の建築当時の形態意匠を再現又は維持することを目的とする建造物の外観の修理、外観変更等の整備に要する経費に対し補助金を交付する。
 また、インバウンドを含めた観光まちづくりに資する事業として、歴史的なまちなみ景観を阻害する建築物の美装化や除却等を実施し、観光の核となる歴史的建造物を含めた地域特有のまちなみ全体の質の向上を図る。
 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

整備に要する経費に対して『尾道市まちなみ形成事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。
 令和4年度実績:1件 (参考)第1期実績(H24～R3):12件(うち尾道・向島12件)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

2件/年を目標とする中で、着実な制度利用につなげられている。今後も地域関係者(団体)との連携を恒常的に図り、取り組みを進めていく。

状況を示す写真や資料等

整備例

整備前

令和4年度

整備後



令和3年度



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
空き店舗活用支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和6年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 北前船の寄港地として港町・商都として発展した市街地には空き店舗が散見されることから、商業地としての古くからの街なみの保全・形成につなげるため、一定期間(概ね6か月以上の間)継続して使用されていない空き店舗等の有効利用を通して地域の活性化及び良好な景観の形成を図ることを目的に、外装整備に要する経費に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

商工部局や関係団体等からのヒアリング内容をもとに、令和6年度以降の事業実施を目指して制度の詳細を検討している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 今後は制度設計及び事業実施に必要な要綱等の整備に向けて、引き続き町内関係課と検討を行う。

状況を示す写真や資料等

整備イメージ

整備前



整備後



評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
沿道建造物等修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	新たに美装化を行う道路及び既に美装化された道路や神社仏閣の参道において、その沿道の建造物や工作物の外観修景(あわせて実施する屋外広告物の除却含む)の整備に要する経費に対して補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
修景整備に要する経費に対して『尾道市沿道建造物等修景事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。 令和4年度実績 4件(尾道・向島 4件、瀬戸田 0件) (参考) 第1期実績(H24～R3) 84件(尾道・向島 78件、瀬戸田6件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	本年は15件の実施を見込んでいたところ4件の実施となったことから、より多くの建造物の修景につなげられるよう、制度内容や周知方法等について検討を行う。		
状況を示す写真や資料等			
<p>整備例</p> <p>令和4年度</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>整備前</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>整備後</p>  </div> </div> <p>・外壁の改修 ・シャッターの補修</p>			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
老朽危険建物除却促進事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 良好な景観の形成の促進及び住環境の改善を図ることを目的に、使用されず適正に管理されていない老朽危険建物の除却に要する経費に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

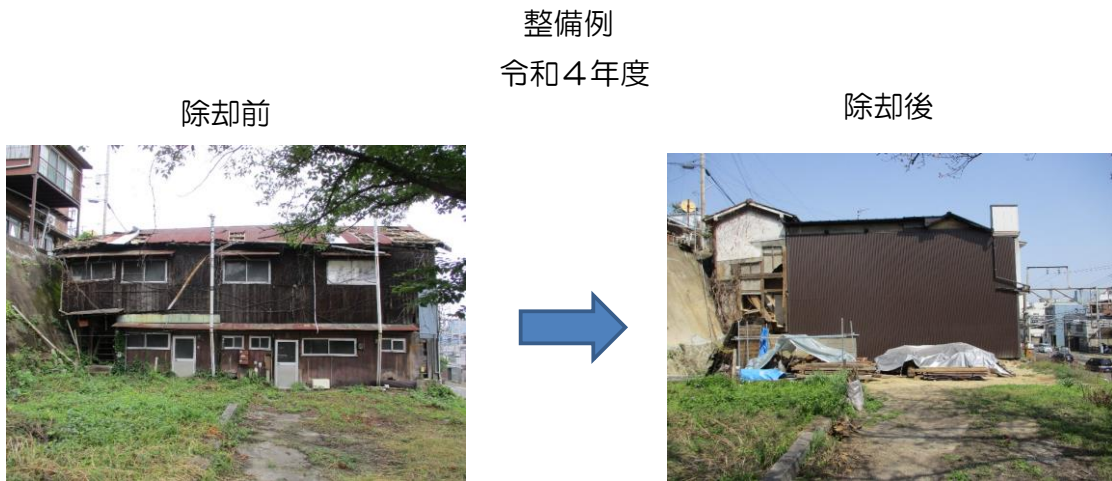
除却に要する経費に対して『尾道市老朽危険建物除却促進事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。
 ◇令和4年度：4件(尾道・向島3件、瀬戸田1件)
 (参考)第1期実績(H24～R3) 94件(尾道・向島77件、瀬戸田17件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

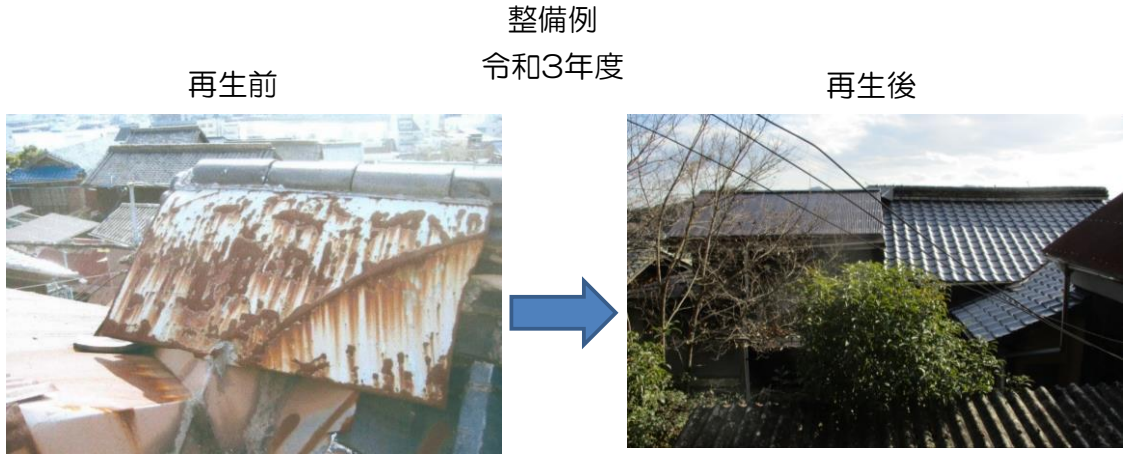
状況を示す写真や資料等



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
空き家再生促進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)		
計画に記載している内容	空き家の有効利用を通して、地域の活性化及び良好な景観の形成の促進を図ることを目的に、空き家の再生に必要な改修に要する経費に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度は補助実績が無かったことから、来年度以降の制度に関する検討を行った。 令和4年度実績 0件(尾道・向島0件、瀬戸田0件) (参考) 第1期実績(H24～R3) 42件(尾道・向島 40件、瀬戸田2件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	より多くの空き家の再生につなげられるよう、補助の金額や要件等についての変更も視野に入れ、制度内容や周知方法について検討を行う。		
状況を示す写真や資料等			



評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
眺望環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和4年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史的建造物や神社仏閣を含む眺望景観を楽しむための滞留スペースや案内看板等の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
事業実施なし。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画期間中の事業実施に向けて、関係各課と連携の上、事業候補地や整備方針について検討を行う。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
街なみ景観改善事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
尾道市単独事業

計画に記載している内容 電柱・電線の輻輳(ふくそう)により街なみの景観や眺望景観が阻害されている通りの電線・電柱の移設や無電柱化を行い、街なみの保全と道路からの眺望景観の向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

尾道・向島歴史的風致地区内において無電柱化(予定)路線としている3路線(長江線、渡し場線、尾道駅前尾崎線)について引き続き検討を進める。
令和2年度に、瀬戸田町堀内邸及び周辺の整備に伴い、景観を阻害する電柱・電線を移設した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

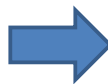
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

整備例

令和2年度

電柱移設前



電柱移設後



評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
道路美化事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
神社仏閣等の歴史的建造物の回遊及び良好な市街地環境の形成のため、主要な小路や通りの舗装及び側溝の美化を行う。
また、長期間経過し経年劣化した美化化道路について、計画的な更新を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

第2期計画における道路美化の全体計画延長はL=2,230mとし、第1期計画で整備しきれなかった路線を中心に整備を行う。
令和4年度は、駅前尾崎線及び久保12号線外1路線の美化を実施した。
令和4年度実績 尾道駅前尾崎線:L=237.4m 久保12号線外1路線:L=70.4m
(参考)第1期計画累計実績 L=2,792m/5,978m

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

整備例

令和4年度

駅前尾崎線



整備前



整備後

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
道路美化事業(瀬戸田地区)		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 瀬戸田歴史的風致地区の中心地であるしおまち商店街と向上寺周辺の道路において、舗装及び側溝の美化化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

AzumiSETODAから向上寺方面に伸びる胡町3号線外1路線の美化化事業に係る測量設計を行った。
 (参考)第1期実績(H29～R3):しおまち商店街の通りである本町御幸町線(L=513m)の美化化を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

整備例

令和3年度

本町御幸町線



整備前



整備後



地域をイメージしたデザインマンホール

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
道路美化事業(幹線街路)		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和59年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街路事業)
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 旧西国街道にあたる久保長江線の歩道において、舗装の美化化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 都市計画法の事業認可(～令和4年度)により久保長江線整備事業を実施。
- ◇平成24年度:用地買収等等
 - ◇平成26～27年度:用地買収部分の管理工事(アスファルト舗装等)を実施
 - ◇平成28年度:用地買収等
 - ◇平成29～30年度:用地買収等及び地下にある防地川の改修工事を実施
 - ◇令和元年度:用地買収等
 - ◇令和2年度:道路舗装及び地下にある防地川の改修工事に着手
 - ◇令和3～4年度:地下にある防地川の改修工事を実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【道路美化事業(幹線街路)】

図面番号	尾道市 1-1-100
事業名	久保長江線(旧西国街道)歩道整備事業
種別	歩道整備
所在地	尾道市 尾道区 尾道町
事業種別	尾道市 尾道区 尾道町



防地川改修工事



歩道整備

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
夜間景観形成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	夜間の安全な通行と夜間景観の形成を図ることを目的に、街なみに調和したデザインの街灯等の設置を行う。 また、歴史的建造物及びその周辺の公共空間も、その価値をより一層高めるようライトアップを展開する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
H29～R3年にかけて美装化工事をおこなった本町御幸町線の街灯について、まちなみに調和した街灯の整備をR5年度に実施できるよう検討を行った			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>整備前の状況</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
歩行者環境等整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 市民や観光客の安全・円滑な歩行のため、劣化による安全面や美観が損なわれている道路や遊歩道、水路等の修復のほか、街なみに調和したデザインの手すりや柵の設置・更新を行い、街並み景観の形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

古寺めぐりコースの一部など歩行するのに危険と思われる箇所の対策について、関係部局と協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

安全、快適な歩行環境の実現に向けて、整備箇所や手法の検討を継続する。

状況を示す写真や資料等

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
しまなみサクラ公園交流施設整備事業 (文化・交流・情報発信機能整備事業)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	尾道観光の玄関口であるJR尾道駅から市街地を回遊する拠点となるための機能(手荷物預かり・情報発信機能・自転車組立所等)を備えながら、開放的で観光客や市民の交流を生み出す交流施設をしまなみサクラ公園に整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度に実施設計を完了したことから令和4年度に工事を実施する予定としていたが、資材価格の高騰等の影響により事業を実施できる見込みが立たなくなったことから工事を延期した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後は事業課である観光課において、状況をふまえながら事業の実施時期について判断する。		
状況を示す写真や資料等			



しまなみサクラ公園交流施設(仮称) イメージ

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
観光案内設備改良事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和4年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	市民や観光客への適切な案内や説明を行う観光(案内)看板について、劣化等により構造的に安全面の問題があるものや美観が損なわれているもの、案内の内容が現状とそぐわないものの修復、改修、撤去を行う。あわせて、わかりやすい情報提供の手法として、デジタル化を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度から観光課で実施予定の千光寺公園サインリニューアル事業について協議を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
文化財調査及び市史編さん事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成20年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	文化財総合的把握モデル事業(平成20年度～22年度)を継承する形で、計画的・継続的に文化財の調査・研究を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度は、市内建造物の詳細調査を5箇所、市内美術工芸品の詳細調査及び写真撮影を20箇所、市内文書の調査を2箇所実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

美術工芸品（古文書）の詳細調査の状況



美術工芸品（歴史資料）写真撮影の状況



評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
文化財愛護少年団事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和43年度～		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金		
計画に記載している内容	文化財愛護少年団の歴史は長く、毎年小中学生を対象に「文化財愛護少年団学習会」を様々な形で開催し、文化財愛護精神と郷土愛の育成に取り組んでいる。 今後とも、文化財愛護少年団活動に対する普及・啓発を図りながら、参加を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財愛護少年団事業学習会 ◇令和4年度:全5回(7月30日、9月3日、10月29～30日、11月20日、2月25日) 参加者数 95名 (参考)第1期計画(平成24～令和3年度) 延べ53回 参加者数 2,095名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

文化財愛護少年団事業学習会の開催状況(令和4年7月30日)



文化財愛護少年団事業学習会の開催状況(令和5年2月25日)



評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
文化財講座開催事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金		
計画に記載している内容	尾道市全体やそれぞれの地域、共通するテーマ等で、文化財や歴史に関する講演会等を開催してきている。今後とも、尾道市の文化財および歴史に関する講演会等の開催を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財講座開催事業 ◇令和4年度：・令和5年1月28日〔参加者数61名〕 ・令和5年2月24日〔参加者数43名〕 ・令和5年3月24日〔参加者数40名〕 (参考)第1期計画(平成24～令和3年度) 延べ22回 参加者数 1,200名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
文化財講座の開催状況(令和5年1月28日)			
			
文化財講座の開催状況(令和5年2月24日)			
			

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
尾道歴史文化読本作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 尾道市の歴史や文化を紹介する冊子等を作成し、市内学校、公民館等関係機関に配布し、普及啓発を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

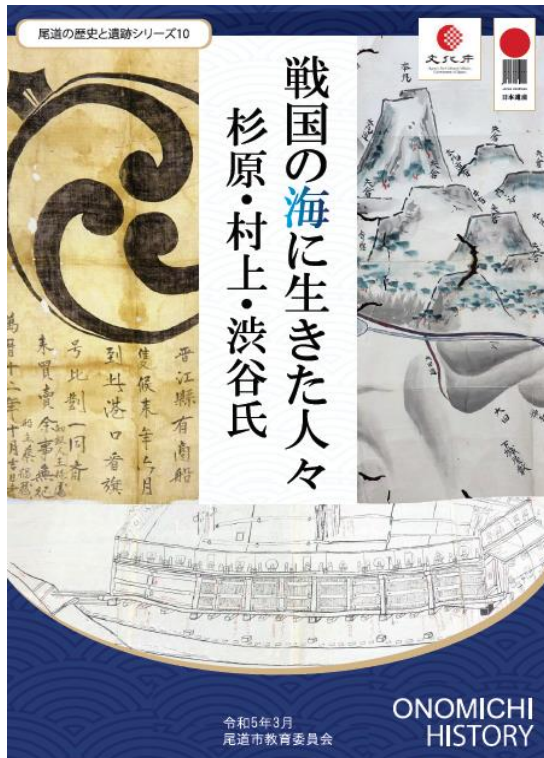
◇令和4年度 埋蔵文化財広報パンフレット「戦国の海に生きた人々-杉原・村上・渋谷氏」3,000部刊行

(参考)第1期計画(平成24～令和3年度)
 埋蔵文化財広報冊子「尾道の歴史と遺跡 近世編」「発掘 尾道遺産 御調編」「発掘尾道市民遺産 街道編」「尾道の歴史と遺跡 瀬戸内の覇者 村上海賊」「尾道近世遺跡 北前船と港町尾道」「尾道と塩の文化」「中世尾道の壘」「中世磁器と港町尾道」「縄文土器と勾玉を作ろう」「常称寺-文化財の保存修理と埋蔵文化財調査」刊行、配布済

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

「戦国の海に生きた人々-杉原・村上・渋谷氏」

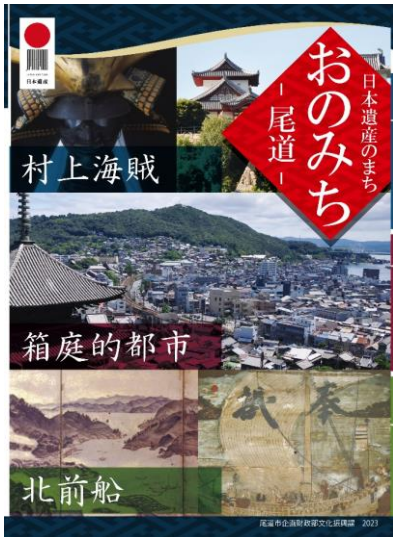


評価軸③-28
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
日本遺産魅力発信推進事業 (尾道水道・村上海賊・北前船)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	日本遺産「箱庭的都市」「村上海賊」「北前船」の情報発信、調査研究、普及啓発、環境整備等を協議会及び民間との連携により実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度は、日本遺産広報パンフレット等増刷、配布及びおのみち歴史博物館等での企画展、巡回展を開催、日本遺産の日イベント等でのブース出展等により、情報発信、普及啓発、人材育成等の事業を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

日本遺産広報パンフレットの増刷配布



日本遺産に関する企画展の開催（おのみち歴史博物館）



日本遺産フェスティバル関門でのブース出展



栗原中学校での日本遺産出前授業



評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
		現在の状況
地域の特色ある埋蔵文化財活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 埋蔵文化財の整理・情報公開・データベースの整備・出張展示会、講演会の開催を行う。
特に、重点区域(尾道・向島歴史的風致地区)では、尾道遺跡に関する資料・データ等の整理、情報公開、啓発等に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度◇出張展示会「戦国の海に生きた人々-杉原・村上・渋谷氏」: 令和4年10月29日～12月4日(会場=おのみち歴史博物館) [参加者数 792名]
出張展示会「村上海賊の船戦」: 令和4年7月15日～10月26日(会場=因島水軍城) [参加者数 4,566名]
(参考)第1期計画(平成24～令和3年度)出張展示会延べ12回 来館者数 77,135名

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

出張展示会「戦国の海に生きた人々-杉原・村上・渋谷氏」



評価軸③-30

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財めぐり事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和43年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容
 尾道市では、区域・地域ごとに、またはテーマに基づいて、市民等が文化財に親しみ、学ぶ「古寺めぐり」などを行っている。
 今後とも、こうした体験型の文化財めぐりを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財めぐり事業

◇令和4年度：文化財めぐり 令和5年1月28日 参加者数35名
 (参考)第1期計画(平成24～令和3年度) 延べ15回 参加者数 732名

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

文化財めぐりの状況(令和5年1月28日)



評価軸③-31

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
近代化遺産活用事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～

支援事業名 尾道市単独事業

計画に記載している内容
 尾道市では、バス、徒歩を利用して市内各地の近代化遺産をめぐる取り組みを行っている。今後とも、関係権利者・管理者の理解と協力を得ながら、近代化遺産の公開の促進に努めるとともに、「近代化遺産めぐり」などの開催を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

近代化遺産めぐり

◇令和4年度：令和5年1月28日 参加者数35名 文化財めぐりと合同開催
 (参考)第1期計画(平成24～令和3年度)延べ8回 参加者数 356名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

近代化遺産めぐりの状況(令和5年1月28日)



評価軸③-32

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化施設ネットワーク事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 尾道市単独事業

計画に記載している内容 おのみち歴史博物館、尾道商業会議所記念館、尾道遺跡発掘調査研究所等の役割分担と連携を図りながら、情報の共有化・ネットワーク化を進め、市民や訪れた人々の情報サービスを高めるとともに、ホームページにおける歴史文化情報等の充実に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

商工部局が管理する「尾道商業会議所記念館」で企画展示を実施した。また、企画展示開催の情報発信を各施設で行うなど所管する関係課と情報交換を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

企画展示会場となる尾道商業会議所記念館

尾道商業会議所記念館の位置(観光パンフレットから)




企画展示の状況

尾道商業会議所記念館 令和4年度企画展示の概要

① 第42回企画展示「オノミチパビリオン」
 期間: 令和4年5月26日(金)～10月28日(水)


[参考]入館者数: 20,806人
 ※企画展示のみの来場者数は把握していないため、期間中の尾道商業会議所記念館の入館者数を記載



尾道商業会議所記念館 令和4年度企画展示の概要

② 第43回企画展示「鉄道のある風景」
 期間: 令和4年10月30日(金)～令和5年2月18日(水)

[参考]入館者数: 13,363人
 ※企画展示のみの来場者数は把握していないため、期間中の尾道商業会議所記念館の入館者数を記載



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の調査に関する事項		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 地元調査員による有形文化財(建造物)、民俗文化財、歴史的景観(小景観:狭い範囲の景観)の調査、及び専門家による美術工芸品(仏像、歴史資料等)、民俗芸能、歴史的建造物の調査を、市内全域の統一基準で実施しており、継続してその他の分野でも市内全域を対象とした文化財調査の実施に努める。
 また、文化財調査の際には、市民参加型の調査を行い、郷土の文化財への理解と愛護精神の高揚を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財調査・研究事業(評価軸③-22:P25)を参照
 ○近代化遺産調査・研究及び保存・活用検討事業

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

③-22:文化財調査・研究事業:P25 ①



③-22:文化財調査・研究事業:P25 ②



評価軸④-2

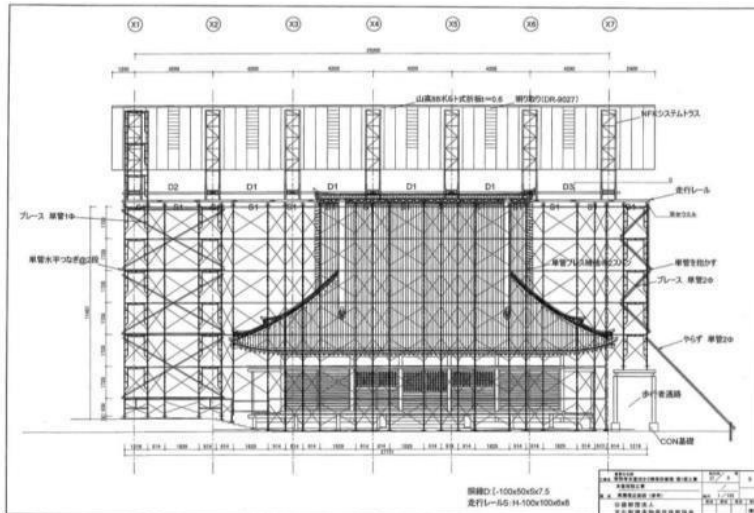
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
文化財の修理に関する事項			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	市内の文化財の状況を見ると、緊急性を要する文化財が多数見受けられ、指定文化財については、その損傷具合や緊急性を考慮し、修理事業を実施している。特に重要文化財の建造物は、その建築年代が古いことから、緊急性を要するものが多い。また、美術工芸品についても、修理の必要がある場合には、その状況を把握し、修理計画を作成することが求められる。ただし、美術工芸品の場合、その保管状況や防犯体制についても考慮する必要がある。教育委員会は、文化財所有者にその指導助言を継続的に行う。文化財の修理は、歴史的真正性を損なうことなく、適切な修理及び整備を実施するとともに、市民に理解を得られるよう適宜公開する機会を設け情報発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○重要文化財等保存修理事業＝常称寺建造物保存修理事業(評価軸③-1:P4)を参照 ○文化財保存事業			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

③-1：常称寺建造物保存修理事業：P4

常称寺本堂（重要文化財）の保存修理状況



【参考図面】公益財団法人文化財建造物保存技術協会
(尾道市文化振興課提供)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
文化財の防災に関する事項	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

特に建造物は、被害を受けやすく、修理に多大な時間と費用を必要とするため、防災対策を万全にし、被害を未然に防ぐこと、被害を最小限にとどめることが重要であり、防災設備の設置と点検を推進する。
 また、従来の文化財の防災対策は、指定文化財に限定されることが多く、指定文化財以外の文化財や文化財の周辺環境に対しては、同様の防災対策はとられていないのが現状である。これらについては、指定文化財と同様の対策をとるのではなく、その状況に応じた防災対策を練る。そのためには、各地域の防災組織と情報交換を行い、文化財をとりまく地域ぐるみの防災体制の構築に努める。
 また、防災だけでなく、防犯対策も必要であり、文化財所有者への防犯意識の徹底を図る。
 文化財の適切な保存・活用のため、文化財所有者及び地域住民の防災意識を高め、文化財防災設備点検等を行う文化財管理事業を継続的に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 重要文化財建造物防災設備整備事業
- 指定文化財管理事業(評価軸③-3:P6)を参照
- 文化財防災啓発事業(評価軸③-4:P7)を参照

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

③-3：指定文化財管理事業：P6



③-4：文化財防災啓発事業：P7



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
文化財の継承の仕組みに関する事項	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

文化財への関心と理解を高めていくため、子どもから高齢者まで、それぞれの関心や状況等に応じた文化財の啓発や学習・体験機会の確保に努める。
 さらに、指定文化財または国登録文化財ではないものの中から、市民自らが価値や魅力を再認識して、残したい歴史文化資源として登録する(仮称)尾道市歴史文化資源市民登録制度の創設に取り組む。また、歴史文化資源が市民によって大切にされ、生かされ、次代に伝えていけるよう、市民や関係団体と協働しながら、啓発や情報提供、保存・活用の活動支援に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財愛護少年団事業(評価軸③-24:P27)を参照
- 文化財講座開催事業(評価軸③-25:P28)を参照
- 民俗芸能等支援事業(評価軸③-26:P29)を参照
- 尾道歴史文化読本作成事業(評価軸③-27:P30)を参照
- 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業(評価軸③-29:P32)を参照

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

③-24：文化財愛護少年団事業：P27



③-25：文化財講座開催事業：P28



③-26：民俗芸能等支援事業：P29



③-27：尾道歴史文化読本作成事業：P30



③-29：地域の特色ある埋蔵文化財活用事業：P32



評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の活用に関する事項		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財の保存・活用及び文化財を生かしたまちづくり等に関わる組織の設立や育成と支援を行うとともに、それらが連携し、協働による事業等を企画・推進する体制づくりに努める。また、組織への市民等の参加を促進するとともに、担い手の育成支援に努める。
 文化財と市民をつなぐ体制づくりが必要であり、市民参加型の様々な事業の実施を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財めぐり事業(評価軸③-30:P33)を参照
- 近代化遺産活用事業(評価軸③-31:P34)を参照
- 文化施設ネットワーク事業(評価軸③-32:P35)を参照

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

③-30：文化財めぐり事業：P33



③-31：近代化遺産活用事業：P34



③-32：文化施設ネットワーク事業：P35



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和4年度
尾道の空き家から	令和4年2月～6月	中国新聞
歴史的風致維持向上計画第2期認定	令和4年4月6日	中国新聞
歴史的風致維持向上計画第2期認定	令和4年4月7日	尾道新聞
ソイル瀬戸田一周年祝う	令和4年4月10日	中国新聞
備後のウンチク 尾道の銀行史	令和4年4月10日	中国新聞
国重文・常称寺 改修進む	令和4年4月23日	中国新聞
劇楽しみ尾道の名所めぐり	令和4年4月26日	中国新聞
日本遺産「北前船寄港地」オンラインセミナー開く	令和4年4月28日	尾道新聞
旧三井住友銀行尾道支店を耐震改修	令和4年4月29日	尾道新聞
市新重要文化財に2件を 平安時代の十一面観音菩薩像	令和4年5月7日	尾道新聞
世界のクリエイター滞在 千光寺山中腹の元料亭を修復	令和4年5月17日	尾道新聞他
山陰・山陽この人 NPO法人尾道空き家再生プロジェクト 豊田雅子さん	令和4年5月22日	毎日新聞
親しみやすい愛称募集 千光寺公園頂上の視点場	令和4年7月13日	尾道新聞
和作の書残る元医院改修	令和4年8月22日	中国新聞
山波神楽団が記念公演	令和4年9月11日	中国新聞
日本遺産村上海賊の認定継続	令和4年9月24日	中国新聞
おのみち歴史博物館企画展「戦国の海に生きた人々」開催	令和4年11月2日	尾道新聞
西国寺火渡り斉燈護摩	令和5年1月11日	尾道新聞
文化財守れ防火訓練	令和5年1月27日	読売新聞
文化財講座Ⅰ	令和5年1月31日	尾道新聞
新尾道市史資料編近世の刊行	令和5年2月1日	中国新聞
西国寺星供節分会	令和5年2月4日	読売新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

報道により視察や研修会場となる機会が増えるだけでなく、主催行事や出張展示などの参加者・入場者の増加のほか、テレビ等のメディアに取り上げられることにもつながっている。
また、NPO法人や民間事業者等による活動も広く周知され、歴史まちづくりに対する関心は高まっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

歴史・文化・景観の歴史的風致の魅力を効果的・持続的なものとするため、積極的な情報発信に努める。

状況を示す写真や資料等

著作権保護のため報道記事は掲載していません。

評価軸⑥-1
その他

項目 評価対象年度 令和4年度

他都市等の行政視察、調査等の受け入れに対する取組

計画に記載している内容 記載なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

新型コロナウイルス感染拡大により視察対応を行っていない時期があったが、令和4年度は3年ぶりに3件の受け入れを行った。
令和4年度の視察対応 1団体(長野県松本市)
出前講座 2件(久保小学校、おのみちバス)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

本市の歴史まちづくりの取組を効果的に伝えるために、ICTを活用した情報提供・発信などに取り組む。

状況を示す写真や資料等



令和4年9月22日 久保中学校(出前講座)

評価軸⑥-2
その他

項目	評価対象年度	令和4年度
----	--------	-------

観光客(総数・外国人)数の推移

計画に記載している内容 記載なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的なまちなみや瀬戸内しまなみ海道のサイクリングなど多様な魅力によって特に外国人観光客が増加していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により観光客数が大幅に減少している。
 今後は、ウィズコロナを見据えた観光基盤の整備と外国人旅行者の受け入れ体制の整備を行う。

>平成23年(認定前)約4万人⇒平成24年(認定後)約6.7万人⇒令和元年約34万人(過去最高 ※平成23年比で約8.5倍増加)⇒令和2年約9.9万人 令和3年度はサンプル数不足により欠測(数値はいずれも推計)

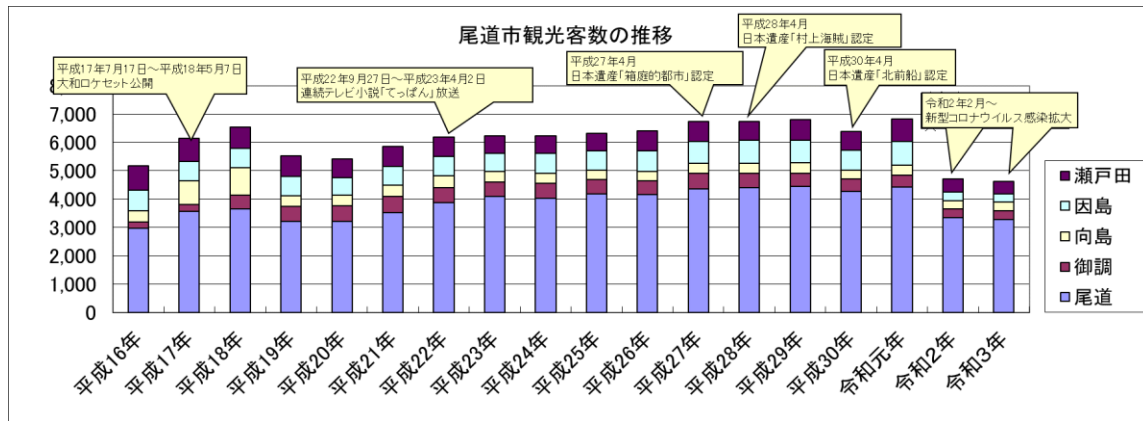
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

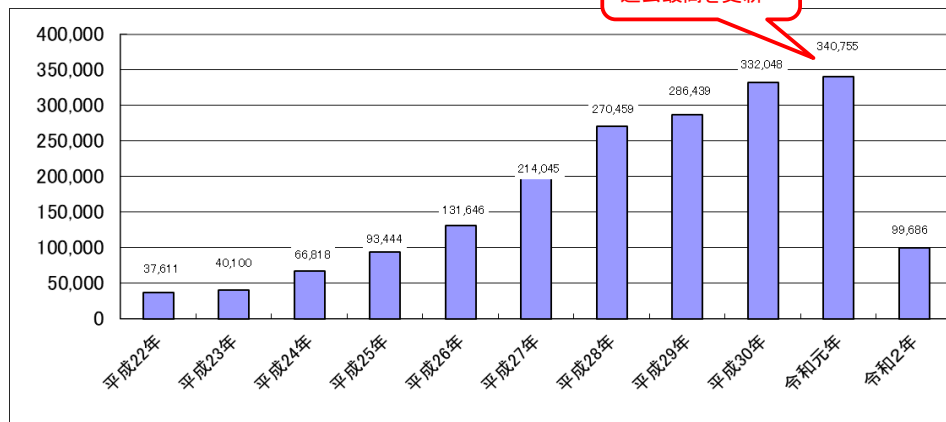
引き続き、歴史的建造物等及び案内施設等の周辺設備の整備を進めると同時に、ウィズコロナや多様化するニーズに応じ、的確に情報提供やガイドを行うことができる人材を育成するなど、受入体制の整備を図る。

状況を示す写真や資料等



	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
外国人観光客数	31,328	37,611	40,100	66,818	93,444	131,646	214,045	270,459	286,439	332,048	340,755	99,686
総観光客集	5,849,399	6,180,380	6,223,250	6,229,438	6,330,466	6,411,529	6,746,966	6,749,030	6,800,612	6,394,530	6,826,030	4,704,927

外国人観光客数(推計)



※令和3年はサンプル数不足により欠測

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議の名称:令和4年度第1回尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時 令和5年3月20日 14:00～	
<p>(コメントの概要) ※進行管理・進捗評価(シート)について</p> <p>① 通常、計画があつてそれに対して実績を比べることで進捗が進んでいるかどうか判断すると思うが、現状の記載では実績のみのため、計画と実績が一緒なのか、それとも違う評価軸で評価を行っているのか教えていただきたい。また、計画通り進捗していないと判断される事業について、今後どのように事業を進めるか課題と対応方針を記載するのが望ましいと考える。</p> <p>② 「尾道歴史文化読本作成事業」作成したパンフレットについて、Webで公開することが望ましい。</p> <p>③ 進捗評価シート中の「状況を表す写真や資料等」で掲載している画像について、同じようなものが重複して使用されている。もう少し事業ごとに違いを出して、わかりやすい写真を使用する方が良い。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>① 実績に対しての評価・進捗状況の判断について補足する記載を「実施・検討にあたっての課題と対応方針」の欄に記載し、わかりやすい整理とします。</p> <p>② 当該事業で作成したパンフレットについては、いずれもWeb上にて公開しています。</p> <p>③ 掲載資料を変更し、わかりやすいものとします。</p>	